

## R5年度〔3学期〕学校評価 自己評価書

達成度(評価基準) 1(50%未満) 2(50~79%) 3(80~100%)

## 1 学校の重点目標

- ・子供が「わかる・できる」と実感することができる授業の創造に取り組む。
- ・学級の親和的な雰囲気の醸成に取り組み、日々の子供の状況を把握しながら、いじめの未然防止や早期発見を推進する。
- ・たくましい心と身体の調和のとれた育成を目指し、学校の全教育活動を通じた体力づくりに取り組む。
- ・外部人材の積極的な活用を図り、多様な人材を活用することで高い学習効果を得ることができる。

## 2 課題と改善策

	評価項目	職員	改善方策
学力向上	1 確かな学力の定着(平均85%以上)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差への対応や補充指導の時間確保等が課題である。次年度に向けて、課題に対応した指導法を検討する。</li> <li>・自分の考えを表現(書く・話すなど)する場を授業の中で確実に設け、児童の表現力向上に努める。</li> <li>・「吉野東小学習スタンダード」についての共通理解・共通実践を促進する。</li> <li>・外部人材を積極的に活用し、学校支援ボランティアの一層の拡充を図る。</li> </ul>
	2 めあてとまとめの整合性及び構造的な板書	2	
	3「吉野東小学習スタンダード」の実践	3	
	4 個に応じた学習指導の工夫	2	
	5「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善	2	
	6 外部人材の積極的な活用	2	
生徒指導	1 あいさつの励行に取り組む指導	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ励行を心がける児童が増えてきたので、この気運の継続を図る。</li> <li>・いじめや不登校等に関しては、校内体制の整備や連携の強化を行い、チームとして対応できるようにする。</li> <li>・生徒指導に書かう共通実践事項を全体で確認し、重点的に指導すべき事項については、一事徹底を心がける。</li> <li>・保護者との教育相談を適宜実施し、その想いに寄り添うことができる連携に取り組んでいく。</li> </ul>
	2 いじめや不登校の未然防止・早期対応	3	
	3 子供や保護者の心に届く生徒指導	3	
	4 子供の人権を尊重した指導	3	
	5 体罰や暴言がない適切な指導	3	
	6 保護者との円滑な連携	3	
保健・安全	1 保健指導の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校児童の課題に即した運動項目を整理し、年間を通じた体力づくりに取り組む。</li> <li>・児童の疾病治療については、継続して保護者への呼びかけを行い、治療率の向上を目指していく。</li> <li>・安全点検の強化によって、学校事故の未然防止に努めていく。</li> <li>・小中が連携した取組(メディア利用のきまり)を行い、望ましい生活習慣を確立する。</li> </ul>
	2 子供の疾病治療の推進	2	
	3 安心・安全を担保する安全指導や環境整備	3	
	4 適切な給食指導	3	
	5 子供の体力向上を目指す授業や活動の充実	2	

## 3 次年度に向けての取組

- (1) 学力向上に向けて、全職員で「わかる・できる」授業の創造に取り組み、児童一人一人が充実した学びが実現できるようにする。
- (2) 不登校・登校渋りに対応するために、組織的な対応を心がけ、外部機関とも積極的に連携を図る。また、児童や保護者の想いや悩みに寄り添うためにきめ細やかな教育相談体制を整備する。